

---

# 大学教育学会ニュースレター

No.91 2012. 9. 20

---

大学教育学会 (*Liberal and General Education Society of Japan*)

事務局 : 桜美林大学淵野辺キャンパス内

〒252-0206 神奈川県相模原市中央区淵野辺 4-16-1

TEL/ FAX : (042) 704-7014

郵便振替口座:00120-4-178891 大学教育学会

e-mail: [ungakkai@gmail.com](mailto:ungakkai@gmail.com) URL: <http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>

---

## 大学教育学会 2012 年度課題研究集会 統一テーマ「グローバル社会における大学教育の質保証」

2012 年度課題研究集会企画委員会委員長

濱名 篤(関西国際大学)

東日本大震災は、これまで日本が培ってきた価値観に大きな変化を与えました。また高度化・多様化する現代社会にあって、学生が社会生活で遭遇する問題状況は、学校教育の中で出会う課題とは大きく異なっています。このように確固たるものが考えているよりも早く価値を変えていく状況において、曖昧なものを創造的に問題解決していく曖昧知や複眼的思考が求められています。

このような大きな危機感の中で、本年 8 月 28 日に中央教育審議会が新たな答申「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて ～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～」を取りまとめました。今回の答申は、学士課程教育の質的転換のための方策を、各大学が大学支援組織や文部科学省、企業・地域社会等と連携しながら、実行し、大学教育の”質的転換”を強く求める内容になっています。この答申がこれからの大学教育にどのような影響を与えていくのか、本集会で会員の皆さんと情報を共有し、ともに考え、意見交換をする機会にしたいと思います。

本集会では、基調講演に、中央教育審議会副会長・大学分科会長である安西祐一郎氏(独立行政法人日本学術振興会理事長)を迎え、答申のポイントと、待ったなしの大学改革においてどのような思いをこの答申にこめられたのかについて開陳して頂きます。さらに開催校シンポジウムでは、教育の質保証の議論の中で注目されている中退問題を取り上げ、学びのつまづきを支援する教学マネジメント体制の構築に向けて多方面からのシンポジストを迎え議論を交わします。

学会としての課題研究では、「共通教育のデザインとマネジメント」、「大学人の構成と機能—カリキュラム・マネジメントに即して—」、「現代における学生支援の課題と展望」の 3 本に、新たに今年度から「FD の実践的課題解決のための重層的アプローチ」が加わり、2 つの時間帯に 2 本ずつの課題が並ぶことになり、会員各位の関心によって選択して頂くこととなります。

11 月(旧暦 10 月)は、全国の八百万(やおよろず)の神々が出雲の国に集まる月です。ちょうど集会が始まる 11 月 23 日(金・祝日)から 7 日間、出雲大社の大国主大神さまのもとで 1 週間会議をおこない、諸々の事、特に人々の縁に関する相談をされる神在祭がひらかれます。新たな答申が出されるこの年に、数多くの会員の皆さんに島根の地に足を運んでいただき、古代出雲の神話や文化に触れながら、グローバル社会における大学教育の質保証をテーマに集い、語り、未来を創る縁結び議論が展開できれば幸いです。

# 大学教育学会 2012 年度課題研究集会

## 実施要項

統一テーマ：「グローバル社会における大学教育の質保証」

主催：大学教育学会

共催：島根大学

後援：島根県教育委員会

期日：2012年11月23日（金・祝日）・24日（土）

会場：くにびきメッセ（島根県立産業交流会館） 島根県松江市学園南1丁目2番1号

### 【スケジュール】

第1日：11月23日（金・祝日） くにびきメッセ3階国際会議場

12:00	13:00	13:30	14:30	14:50	17:50	18:30	20:00
受付	開会 挨拶	基調講演	休憩	開催校企画 シンポジウム	移動	情報 交換会	

情報交換会場：松江東急イン

第2日：11月24日（土） くにびきメッセ（シンポジウム会場は3階・5階）

9:00	9:30	12:00	13:00	15:30	16:00
受付	シンポジウムⅠ シンポジウムⅡ	昼食	シンポジウムⅢ シンポジウムⅣ	閉会 挨拶	

関連行事

11月23日（金・祝日）9:30～11:30 常任理事会（くにびきメッセ3階401会議室）

12:00 受付開始 (くにびきメッセ3階ロビー)

13:00～13:30

総合司会：松田 岳士 (島根大学)

開会行事 (くにびきメッセ3階国際会議場)

開催大学挨拶 学長 小林 祥泰 (島根大学)

学会会長挨拶 小笠原 正明 (北海道大学・筑波大学)

13:30～14:30

**【基調講演】「グローバル社会における大学教育の質保証」**

講演講師 安西 祐一郎

(日本学術振興会理事、文部科学省中央教育審議会副会長・大学分科会長)

14:30～14:50 休憩

14:50～17:50

**【開催校企画シンポジウム】**

テーマ：「中退問題から考える大学の質保証

～修学を支援する教学マネジメント体制の構築に向けて～」

グローバル化・ユニバーサル化がもはや日常となった現代社会において、学生が社会生活で遭遇する問題状況は、守られた学校教育の中で出会う課題とは大きく異なり、唯一の正解のない課題や問題を創造的に解決していく複眼的思考が求められる。したがって、大学で学生が学ぶべきことは、日常や社会の文脈の中にも持ち運べ、状況や時代を超えても役立つ、持続性・発展性のあるものでなければならない。中央教育審議会の答申「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて ～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～」においては、産業界や地域社会が、そのような有為の人材の育成を大学に求めていることを指摘し、教育の質的転換を求めている。

各大学が改革に取り組む一方で、大学を中退していく学生は年々が増えつつある。その理由は学習意欲の喪失、人間関係、関心の移行、不本意入学、学業不振など様々であり、修学を断念していくその実情に関しては、未だ十分に知見を得られていない。社会全体がグローバル化という大きな潮流の影響を受けている中で、その時代を生きていく力を育成し、大学教育の質保証をしていくためには、今の中退率 (OECD 諸国最低) をどうとらえていくのから問い直さなければならない。

世界の国々と比べて中退率が低いから現在の大学教育のままでいいのか。グローバル社会の中でどのような大学教育を構築していくのか、本シンポジウムでは、この多様な社会的、教育的歪みを抱える中退問題を、修学支援を中心に教学マネジメントの視点でとらえていく。

シンポジスト：

濱名 篤 (関西国際大学) 「本テーマに関する問題整理と国内外を含む動向」

鈴木 典比古 (国際基督教大学前学長、大学基準協会)

「ICU 国際基督教大学の質保証システム」

山本 繁 (NPO 法人 NEWVERY、日本中退予防研究所)

「中退者の実際と改革事例の整理～IR の果たす役割を中心に～」

肥後 功一 (島根大学) 「島根大学における質保証について」

司会者：吉田 香奈 (広島大学)・森 朋子 (島根大学)

18:30～20:00 情報交換会 (松江東急イン)

9:00 受付開始 (くにびきメッセ3階ロビー)

9:30~12:00

【シンポジウムⅠ】 会場：くにびきメッセ3階国際会議場

テーマ：「共通教育の新段階」

1999年以來、12年ぶりの共通教育全国調査から言えることは、共通教育が、大学類型によって分化しつつあるということである。研究中心大学や高度専門職業人育成大学における共通教育が、比較的、従来からの教養教育の枠組みを保っているのに対して、幅広い職業人の育成あるいは教養教育を中心とする中堅大学においては、教育方法がスキル中心になるとともに、教育内容もリメディアル教育からキャリア教育まで幅広い広がりを見せている。

後者の背景には、大学生の学力低下・未成熟化・低意欲化が急速に進行する中で、大学の教育成果が就職状況で判断されるという事情がある。これまで、共通教育をめぐる議論は、教員が、教養教育の理念に基づいて、実施体制を模索するものであったが、今日では、学生の現実・社会的要請が、共通教育の中味を左右し、教員の専門志向を揺るがしている。そこで、本シンポジウムは、現在の状況を振り返った後、武蔵野大学における新たな基礎学カスタンダード「武蔵野 BASIS」の事例及び中堅大学における学士課程教育を取り上げる。

企画者：吉永 契一郎 (東京農工大学)・山内 正平 (千葉大学)・小山 悦司 (倉敷芸術科学大学)・

小林 勝法 (文教大学)・中村 博幸 (京都文教大学)・吉田 香奈 (広島大学)・

古畑 徹 (金沢大学)・木本 尚美 (県立広島大学)・佐々木 一也 (立教大学)

司会者：中村 博幸 (京都文教大学)・小林 勝法 (文教大学)

シンポジスト：

吉永 契一郎 (東京農工大学) 「共通教育の新段階」

矢内 秋生 (武蔵野大学) 「専門教育への接続のための全学基礎教育と学科基礎教育」

居神 浩 (神戸国際大学) 「ユニバーサル型大学における学士課程教育

ーノンエリート・キャリアを展望してー」

コメンテーター：葛城 浩一 (香川大学)

【シンポジウムⅡ】 会場：くにびきメッセ5階501大会議室

テーマ：「FDの実践的課題解決のための重層的アプローチ」

本シンポジウムは、本年度から採択された課題研究「FDの実践的課題解決のための重層的アプローチ」に基づくものである。本課題研究の目的は、日本の高等教育機関の現場で生起している様々なFDの課題を、「学生の学習」に焦点をあてて、実践的に解決するための重層的なアプローチを提起しようとするものである。具体的には、FDに関わる研究・開発・実践・普及といった場面で起こる諸課題を、学生の学習の質向上を目的として、ミクロ (授業の改善)・ミドル (カリキュラムの改善)・マクロ (全学的教育制度の改善) の三層のアプローチで、解決しようとするものである。

1年目である本シンポジウムにおいては、本研究の全体像を提示するとともに、FDの実践に取り組む際に、前提として理解しておかなければならない、学習概念の整理を行うことで、3年間の研究の足場づくりを行いたい。

まず佐藤報告では、FDに関する日本の先行研究の批判的検討を踏まえた上で、本研究の意義と方法を提示する。次に加藤報告では、FDを進める上で学習をどのように理解する必要があるか、学生の学習の全体像をどう捉えるべきかについて提起したい。最後に山田報告では、「学生の学習」とりわけ教員・学生双方の「学習観」に焦点をあて、教育・学習に与える影響およびFDの課題について、調査結果に基づき問題提起を行う。

企画者：佐藤 浩章（愛媛大学）・加藤 かおり（新潟大学）・近田 政博（名古屋大学）・  
沖 裕貴（立命館大学）・山田 剛史（愛媛大学）・井上 史子（帝京大学）・  
山内 尚子（京都産業大学）

司会者：近田 政博（名古屋大学）

シンポジスト：

- 佐藤 浩章（愛媛大学）「本課題研究の意義とアプローチ方法  
ー日本におけるFDの批判的検討を踏まえてー」
- 加藤 かおり（新潟大学）「学習者中心の大学教育における学習をどう捉えるか  
ー深いアプローチを手掛かりにー」
- 山田 剛史（愛媛大学）「教員の教育力向上と学生の学びの連関に関する探索的検討  
ー教員・学生の『学習観』に着目してー」

12:00～13:00 昼食休憩（昼食会場：くにびきメッセ6階601大会議室）  
事前にお申込みされたお弁当は、昼食会場で引換券によりお渡しします。

13:00～15:30

**【シンポジウムⅢ】** 会場：くにびきメッセ3階国際会議場

テーマ：「資格課程カリキュラム・マネジメントにおける大学人の構成と機能」

課題研究「大学人の構成と機能ーカリキュラム・マネジメントに即してー」は今年度2年目である。本課題研究は「教職協働」を「大学人の構成と機能」の問題として捉え直し、カリキュラム・マネジメントを舞台として、大学人という共通の基盤に立って教員と職員が更なる有機的連携を行うための条件を探究している。初年度は課題研究集会シンポジウムを開催せず、教養教育あるいは大学全体のカリキュラム改革に取り組んでいる山形大、愛媛大、大阪府立大にインタビュー調査を行った。それを出発点として本課題研究では、大学におけるカリキュラム・マネジメントとは何か明らかにし、それを遂行するための教職員間の協働を、大学人の構成要素の明確化とその機能の新たな構築につなげたいと考えている。

今回の主題は、資格課程におけるカリキュラム・マネジメントである。多くの大学に設置されている教職課程や専門性に特化した医学・医療関係教育課程など、国家資格と強く連動するカリキュラムの運営は、目まぐるしく変化する法令との整合性を保持し続ける注意深さや、職業に直結するゆえに社会や学生からの要求に迅速に応える機敏さが要求される。これらの仕事では、教員と職員の役割分担といった仕事の切り分けが必ずしも截然となされ得るわけではない。そのカリキュラムをより実質的に学生に定着させ、教育の実を挙げ、学生の中に資格の意味する本来の学士力を育成するためには、両者が大学人としての共通の基盤に立つ必要があると考えられる。本シンポジウムでは、教職課程と医療系・看護系教育課程を対象として、そこに見られる「大学人の構成と機能」を明らかにしたい。

企画者：秦 敬治（愛媛大学）・本郷 優紀子（桜美林大学）・今田 晶子（立教大学）・  
中井 俊樹（名古屋大学）・佐々木 一也（立教大学）・清水 栄子（阿南工業高等専門学校）・  
竹山 優子（学校法人筑紫女学園）・寺崎 昌男（立教学院）

司会者：佐々木 一也（立教大学）・清水 栄子（阿南工業高等専門学校）

報告と問題提起：「聞き取り調査から見えた大学人の構成と機能」

秦 敬治（愛媛大学）・今田 晶子（立教大学）・佐々木 一也（立教大学）

講演1：吾郷 美奈江（島根県立大学）「看護学部におけるカリキュラム・マネジメントの課題」（仮題）

講演2：中留 武昭（九州大学名誉教授、鹿児島県立短期大学元学長）

「大学におけるカリキュラムマネジメントと教職協働」

総括討論

**【シンポジウムⅣ】** 会場：くにびきメッセ 5階 501 大会議室

**テーマ：「学生支援に携わる教職員に求められる能力とは何か」**

本課題研究（「現代における学生支援の課題と展望」）の目的は、学生の多様化や大学教育改革の進展によって、その広さと深さを急速に増しつつある学生支援の現状と課題について理論的・実証的に分析と検討を行い、今後の展望を得ることである。

昨年は、学生支援のプロセスにおいて学生はどのように変容するのか、ボランティア活動を例にとってその変容に焦点を当てたが、今回は、学生支援の実践を支える教職員の能力開発に焦点を当てたい。教職員の能力開発は、学生支援の成否の鍵といっても過言ではないのに、求められる能力自体に対する議論が今まで十分になされてきたとは言い難いからである。研究・教育に関わる大学教員、あるいは事務を念頭においた大学職員の能力開発については、指標の開発を含めて、それなりの取り組みが始まっているが、学生支援に焦点化した教職員の能力開発については検討自体が極めて少ないのが現状である。一方、日本学生相談学会においては、「学生支援士」資格をスタートさせる予定となっており、他学会の動向も活発になってきている。

本シンポジウムにおいては、学生支援に携わる教職員に対する能力開発の現状や課題について、課題研究委員会から報告を行い、あわせて、日本学生相談学会からも担当の方をお招きして、「学生支援士」資格についてご報告をいただく。また、参加者の意見をも取り入れる手法を試みつつ、これまでの知見を集約することを通して、求められる能力を体系的に捉えていくための足掛かりとしたい。

司会者：川島 啓二（国立教育政策研究所）

シンポジスト：

川島 啓二（国立教育政策研究所）「学生支援担当の教職員のための研修の在り方について」（仮）

橋場 論（立教大学）「学生支援に携わる教職員のための能力開発とその指標」（仮）

大島 啓利（広島修道大学・日本学生相談学会資格認定委員長）「学生支援士」資格について」（仮）

15:30 ～16:00 閉会行事（くにびきメッセ3階国際会議場）

学会会長挨拶 小笠原 正明（北海道大学・筑波大学）

次年度大会開催校・課題研究集会開催校紹介

閉会挨拶 2012年度課題研究集会実行委員長 肥後 功一（島根大学）

## ＜課題研究集会参加申込み要領＞

課題研究集会に参加される方は、以下の要領で 1)参加申込みの上、2)参加費等の払込みを行ってください。なお、準備の都合上、事前手続きにご協力ください。事前手続きにより、参加費・情報交換会費を割引させていただきます（学生会員以外）。

＜事前手続き＞ 10月29日（月）までにお申込みの上、参加費等の払込みを、11月2日（金）までにお願  
いします。期日を過ぎて払い込まれた場合、受付で当日申込との差額をいただきます。

### 1) 参加申込み方法

オンラインで参加申込みをお願いいたします。9月20日（木・予定）より、本学会ウェブサイトの最新情報欄に「2012年度課題研究集会のご案内」が掲載される予定です。同記事より、「大学教育学会 2012年度課題研究集会参加申込フォーム」へアクセスができます。同フォームの指示にしたがってお申込みください。

[大学教育学会 URL] <http://www.daigakuyoiku-gakkai.org/>

※オンライン申込みの受付後には「申込受付」メールを、申込み時に登録されたメールアドレス宛に送信します。「申込受付」を受理されましたら、参加費等の払込みをお願いします。

### 2) 参加費等払込み方法

参加費等は、郵便振替による支払いをお願いします。振込手数料はご本人の負担となります。

振替口座は以下のとおりです。参加者1名につき、払込票1枚でご入金ください。

会員の方は、同封の「払込取扱票」をご利用いただくと便利です。なお、学会の年会費の郵便払込取扱票とは別になっていますので、ご注意ください。

課題研究集会 郵便振替口座 加入者名：大学教育学会 2012年度課題研究集会 【口座番号】01310-3-88894
--

なお、銀行など他の金融機関からお振込みになる場合は、下記内容をご指定ください。

金融機関名：ゆうちょ銀行 支店名（店番）：一三九（イチサンキュウ）店（139）

口座種別：当座、口座番号：0088894（※振込の際の口座番号桁数が異なります）

口座加入者名：大学教育学会 2012年度課題研究集会

万が一誤って締め切り後にご入金の場合、課題研究集会当日までに入金を確認できないことがありますので、ご入金時の郵便振替払込請求書兼受領証を必ずご持参ください。

領収書は、当日受付でお渡しします。

【参加費等】（事前払込期日は11月2日（金）です。）

申込み区分	会員・一般		学生 （特別割引）
	事前払込み	当日受付	
参加費（要旨集含む）	4,500円	5,000円	1,000円
情報交換会費	5,500円	6,000円	2,500円
『要旨集』のみ	1部 1,000円（送料込み）		
弁当・お茶（24日昼食）	1,000円		1,000円（事前のみ）

- ・非会員の方も参加できます。オンライン申込み後、「申込受付」のご連絡時に参加費等をお知らせしますので、郵便局に備え付けの「払込取扱票」により、上記と同様の手続きをしてください。
  - ・学生や院生の方々が参加しやすいよう、参加費および情報交換会費の特別割引をしています。会員の皆様におかれましては、非会員の学部学生や院生も含め、広く課題研究集会への参加を促していただきますようお願いいたします。また、これを機会に本学会加入呼びかけへのご協力もお願いいたします。
  - ・払込みされた参加費等は、理由を問わず返却いたしません。あらかじめご了承ください。
  - ・参加費等を払込みながらご欠席の場合は、後日、『要旨集』をお送りします。
- ※参加申込みとして登録された情報のうち、事前に受付けされた方のお名前と所属機関名は、当日配付する『要旨集』の「参加者名簿」に記載させていただきます。
- ※本課題研究集会の開催にあたり、島根県、松江市からの助成金の交付を申請しており、後日、参加者・宿泊者名簿（お名前及び都道府県）を提出させていただきますことをご了承ください。

### 3) 宿泊、オプションツアーについて

課題研究集会開催期間は、秋の行楽シーズンにあたり、宿泊施設の予約が困難であると予測されます。会場周辺のホテルに一定数の部屋を確保していますので、宿泊を予定されている方は下記サイト掲載の申込書により旅行代理店へお申し込みください。オプションツアーについても、同じ申込書をお使い下さい。

【申込書はこちら】 <http://cerd.shimane-u.ac.jp/event/117>

※宿泊・ツアーの申込締切日＝平成24年11月9日（金）

旅行代理店：㈱一畑トラベルサービス 一畑トラベルカウンター（出雲空港内）

### 4) 11月24日（土）の昼食

会場内にレストランがございますが、席数が限られており、同時期に他のイベントも開催されています。弁当をご希望の方は、参加費とともに弁当代1,000円を払い込んでご予約ください。弁当は、当日「弁当予約券」と引き替えにお渡しします。なお、弁当の当日販売はありません。

#### 【会場へのアクセス】



会場へのアクセスは、くにびきメッセホームページにてご確認ください。 <http://www.kunibikimesse.jp/>

#### 【JR松江駅から】

- 徒歩7分
- 路線バスで3分
  - ①松江市営バス「北循環線（内回り）」（①番のりば）乗車「くにびきメッセ前」下車（均一運賃：200円）
  - ②一畑バス「松江駅・メッセ方面」行き（⑩番のりば）乗車「くにびきメッセ前」下車（運賃：150円）

#### 【空港からのアクセス】

- ①出雲空港 <http://www.izumo-airport.co.jp/>
- ②米子空港 <http://www.yonago-air.com/>

※空港連絡バス時刻表（松江一畑交通）

<http://www.ichibata.co.jp/taxi-matsue/ap-bus/>

### 【2012年度課題研究集会 実行委員会 事務局】

大学教育学会 2012年度課題研究集会 実行委員会事務局

島根大学 教育開発センター

〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060 TEL：0852-32-9860

お問合せ用 E-Mail：shimane2012kadai@soc.shimane-u.ac.jp



## ＝事務局から＝

### ● 会費納入のお願い

今年度(2012年度)の会費が未納の会員及び過年度の会費・会誌代が未納の会員は、できるだけ早くご入金ください。領収書につきましては、郵便払込票の受領書をもって替えさせていただきます。

年会費等郵便振替口座 00120-4-178891 「大学教育学会」

ご入金には郵便払込票をご利用ください。やむを得ず、銀行からご入金を希望される場合は、入金前に必ず、以下の大学教育学会 学会業務取扱センターまでその旨ご連絡下さい。

＜「入退会・会員登録情報変更・会費納入状況」の問い合わせ先＞

大学教育学会 学会業務取扱センター

〒170-0004 東京都豊島区北大塚3-21-10アーバン大塚3F (株)ガリオ内

TEL:03-5907-3750 FAX:03-5907-6364

E-mail:g022lges-mng@ml.gakkai.ne.jp

なお、入金状況については、学会ウェブサイトの会員ページにあります「会員情報の照会・更新」からご自身で確認可能です。

※課題研究集会時(11月23日(金)12時～17時、24日(土)9時～13時)は、会場に学会事務局の受付を設置し、未納分の会費納入、会誌バックナンバー・学会出版物の頒布等を行いますのでご利用ください。

### ● 団体会員、会誌配布団体の会員番号(ID)について【ご注意】

すでにご案内しております通り、団体会員、会誌配布団体の会員番号を2012年4月より変更しております。これらの会員の皆様にはご不便をおかけいたしますが、なにとぞご理解賜りますようお願い申し上げます。

＜会員番号＞

以前の会員番号、千の位の数字と百の位の数字の間に「0(ゼロ)」を入れた5ケタの番号です。

例：団体会員：(旧)3111→(現)30111

会誌配布団体：(旧)5011→(現)50011

### ● 2012年度課題研究集会について

2012年度課題研究集会は、11月23日(金)～24日(土) くにびきメッセ(島根県立産業交流会館)にて開催予定です。本文内の実施要項等を十分お読みいただきお申し込みください。

### ● 大学教育学会第35回(2013年度)大会について

2013年度第35回大会は、6月1日(土)～2日(日) 東北大学川内北キャンパスにて開催予定です。スケジュール、ラウンドテーブルや自由研究のお申込みについては次号(NL92号)にてお知らせの予定です。

### ● 2013年度課題研究集会について

2013年度課題研究集会は、11月30日(土)、12月1日(日) 同志社大学今出川キャンパスを中心に開催予定です。

### ● 住所変更の届出についてのお願い

定期刊行物は、宅配業者のメール便を利用しているため、転居にともなう転送はされず数週間後、事務局へ返送されてまいります。そのため、会員の方のお手元へのお届けが非常に遅くなります故、変更が生じた場合、迅速に会員登録情報の変更申請をウェブサイト上の会員ページよりお願い申し上げます。

## ● 大学教育学会奨励賞2012年度募集について

大学教育学会奨励賞は、大学教育および大学教育研究の発展を期して設けられました。受賞対象者は本学会会員です。2012年度の受賞対象は過去4年間の学会誌（第31巻第1号から第34巻第2号まで）に掲載された論文です。応募は自薦・他薦を問いません。

- ① 提出書類 <自薦>論文、応募者の略歴及び業績一覧、応募理由（研究の意義・成果など1,000字以内） / <他薦>論文、推薦理由（研究の意義・成果など1,000字以内）
- ② 募集締切 2012年12月17日（月）必着
- ③ 送付先 学会事務局

なお奨励賞についての詳細は、「大学教育学会奨励賞規程」（本学会ウェブサイトに掲載）をご確認ください。



---

### 【学会事務局】

〒252-0206 神奈川県相模原市中央区淵野辺 4-16-1

桜美林大学 淵野辺キャンパス 3階

Tel/Fax:042-704-7014

E-mail:ungakkai@gmail.com

URL:<http://www.daigakukyoiu-gakkai.org/>

### 【入退会・会員登録情報変更・会費納入状況についてのお問い合わせ先】

大学教育学会 学会業務取扱センター

〒170-0004 東京都豊島区北大塚3-21-10アーノンシ大塚3F (株)ガリオ内

TEL:03-5907-3750 / FAX:03-5907-6364

E-mail:g022lges-mng@mlgakkai.ne.jp